



森ボラ 通信

第183号 2017年8月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 落枝注意の看板設置

最近森の中での落枝事故のニュースをよく聞くようになりました。対策として安全教室だけでなく野立ての注意看板を設置することになりました。

高野さんのデザインで看板を製作して2017年7月18日までは澄川都市環境林に8枚立てました。森林教室などで森に来られる方々にも注意を喚起願います。(文・酒井)



◆ 澄川環境林右精進川の水質検査と水中生物の調査

7月1日に青少年科学館の守屋先生に源頭部、キャリコ橋、下流橋の3か所で状況の観察と水質並びに水生生物の調査、調査方法等のご指導を頂きましたのでその結果を含めて報告します。

澄川環境林2カ所でのPHと電気伝導度の測定結果

場所	pH	電気伝導度(uS/cm)
源頭部(E-5)	6.9	510
下流橋(D-6)	7.4	310

水性生物

キャリコ橋(C-5)での水生生物

- コカゲロウ属 1個体 (5mm)
- コヤマトビケラ属 4個体 (6mm~1mm)
- ユスリカ科 (モンユスリカ亜科) 2個体 (7mm~3mm)
- カワニナ 19個体 (20mm~1.5mm) 5mm前後が6個体

森しり隊植栽地(C-2)の水生生物

- エゾサンショウウオ幼生
- エゾアカガエル幼生
- アシエダトビケラ科と思われる幼虫

この調査結果を踏まえて先生からのコメントです

平均的な河川よりは、少し、イオンが多いかも知れません。

源流部の赤い付着物が鉄によるものであれば、鉄イオンが多いのかも知れませんが、私には分かりません。様々なイオンを調べないと結果は出ませんので、今のところは、不明です。



憶測で断定はできませんので、気になるところでありましたら、各イオンを調べることをお勧め致します。ただし、その多いイオンがどの様に流域生態系に影響を及ぼすのか、また、影響を及ぼす事がないのかも吟味しなければならないと思います。



下流橋での水生生物の種類や量的なことからは、殆ど影響を及ぼしていないのかも知れないような気がすることを、一応付け加えさせていただきます。(青少年科学館・守屋 開 先生)

■ 活動報告

◆炭焼き体験学習

今年度の炭焼きは森しり隊・子供達のホタル観賞に合わせ、7月23日に実施しました。朝10時、石川森ボラ宮司によるユーモラスな祝詞のあと点火。年に一度の素人集団による炭造り、不安な思いで4本の煙突からの煙を眺めていました。煙は窯の中の様子を伝えるサインです。頼りない煙も夕方になりやっと思い通りになり木酢液も出てきました。



その間子供たちの森林学習は続きます。タイミングよく蝉の羽化を見たり葉の話の聞いたり火起こし、かんじき造り、林内観察と食事や休憩もそこそこに一生懸命でした。夕食後はスイカをかじり、ホタルの豆知識を学び暗い森の中に入り妖しい自然の光を見つめ蛍雪時代も完全に死語になったことを感じました。8時過ぎには親子も家路につきました。

林内が静かになっても炭焼きは続きます。壮大な煙が夜目にもはっきりと浮かんでいます。宿泊組8名裸電球の下、カエルの鳴き声を聞きながら窯を見つめていましたが夜中に空気孔を閉鎖して車中泊となり午前3時1本の煙突が赤くなり炎が出始め4時には煙も出なくなり約18時間をかけての炭焼き終了です。煙突を外して砂をかけ空気を遮断して朝となりました。

気になる窯出しは28日で恐る恐る窯を分解してみると入れたマキの8割くらいが炭になり採点すれば70点位の出来でしょうか。皆様お疲れ様でした。(文・加藤)

◆ ～2017年親子森林教室・森しり隊の第4回活動報告～

炭焼き窯の火入れ⇒夏の森を歩いて観察⇒下草刈り体験⇒木を使ってのものづくり⇒ホタル観賞と、メニュー盛りだくさんの長～い一日をこなす！

今年度第4回目となる親子森林教室が7月23日(日)に澄川都市環境林で開催され、森しり隊の子どもたち15名と保護者12名、協会員19名、総勢46名が参加しました。当初危ぶまれた天気も晴れて、1ヶ月振りに元気な子どもたちの声が澄川の森に響き渡りました。朝礼では、夜のホタル観賞まで長丁場なのでこまめな水分補給をすることと、最近話題に上るダニやスズメバチに気を付けるよう大窪隊長から注意して始まりました。

ラジオ体操後、夏の森を観察する前に、木の病気や虫害・獣害にはどんなものがあるか基礎的な知識を石川さんの説明で学習しました。それから炭焼き窯の火入れです。

窯の中には前回(6/18)の親子森林教室で子どもたちが運んで詰めた薪も入っており、石川さんの



祝詞を子どもたちも神妙に聞き、拍手を打って無事に炭が出来上がることを祈りました。引き続き駐車場脇の植栽地に行き、今度は実際に木の病気や虫害・獣害の実態を観察し、木肌が傷んだエゾヤマザクラの手当ても試みました。次は説明役が高野さんに代わり、小屋前からキャリコ橋、樹木園、上流橋を経て小屋前に戻るおよそ1.3kmの作業道を歩きながら、木の名前と特徴、主な用途について学び、午前中の活動を終

第4回 活動スケジュール	
9:35	朝礼・ラジオ体操
9:47~10:05	木の病気、虫害・獣害の学習
10:05~10:25	炭焼き窯の火入れ
10:25~11:10	木の病気、虫害・獣害の観察
11:10~12:00	夏の森を歩いて木を学習
12:00~12:45	昼食・休憩
12:45~13:20	下草刈り体験(親子共同作業)
13:20~13:30	休憩
13:30~14:30	コースター・バードコール作り
14:30~15:45	化粧炭作り・種火起こし体験
15:45~16:00	休憩
16:00~18:10	カンジキ作り(親子共同作業)
18:10~19:05	夕食・休憩
19:05~19:30	スライド観賞
19:30~20:15	ホタル観賞、解散

えました。

昼食後の最初の活動は木を育てるための下草刈りの体験です。リヤカーに鎌を積んで皆でC1地区に行き、前回(6/18)に植樹した木の周りの下草(笹)刈りを親子共同で行いました。説明者の樫棒さんは何故下草刈りが必要かを子どもたちに問い掛け、中鎌と手鎌の使い方を教えながら作業を進めました。

小屋前に戻り、休憩を挟んで、次の活動は夕食まで“木を使ったものづくり”の3点セットです。まず、コースターとバードコール作りをしました。木の乾燥が十分でなかった反省点はありませんでしたが、田山さんの説明の下に子どもたちは1人ずつ鋸でエゾヤマザクラ、ホウノキ、シラカンバの木を上手に伐って作品を作ることが出来ました。この間、保護者のお父さんにはバードコールの穴開けを手伝ってもらい、お母さんたちは西野(澄)さんの指導でリース作りをしてもらいました。



偶然にもエゾゼミの脱皮を観察



親子共同で下草(笹)刈りを体験



ついにやった! 貴重な種

次は化粧炭作りと種火起こしです。化粧炭作りは子どもたちが持ち寄ったマツカサやドングリ、更には森歩きで集めたセミの抜け殻が巧く炭に変身しました。種火起こしは昨年の雪辱を期して一生懸命に歯車を回した結果、ついに煙が立ち、種火を起こすことが出来ました。

ものづくりの最後はカンジキ作りです。今年は雪の上を歩いても紐が外れ難い和田式改良型を作ることにしました。しかし、ネジ留めや部品を絡めた紐通しが少し複雑で時間を取られたことから片足分しか出来ず、もう一方は自宅で作ってもらって、次回に紐のネジ留めをして完成させることにしました。

時間が超過したために“みんなでまとめ”は別途行うことにして、山での夕食と好評のスイカを皆で味わいました。夕食後、ホテルが出る時間までは酒井さん作成のスライド「葉っぱの話」を観て学習し、最後はいよいよホテル観賞です。説明役の佐野さんからホテルの一生と右精進川の汚染問題の話聞いた後、期待に胸を膨らませてキャリコ橋に向かいました。

すると、暗闇から点滅する光が一つ、二つと見え出し、10匹ほどのホテルを確認することが出来ました。しばし淡い光に見惚れた後、小屋前に戻り20時15分に解散、長〜い一日の活動を終えました。子どもたちも疲れた様子で、いくつかの課題も残りましたが、第4回目も子どもたちは多くの事を学び、感動し、無事に終えることが出来ました。



真鍮ノコギリで木を切る

次回は、10月15日で、「木を育て、森の恵みを味わう」をテーマに開催します。(文・清澤)

◆支笏湖復興セブーンイレブンの森を訪ねて

7月21日ぶんぶんの森の帰りがけに2年ぶりに訪問しました。セブーンイレブンジャパンが2004年の台風で被害を受けた支笏湖国有林に24の団体が集まり復興の森として植栽活動を初めた場所です。協会も2006年9月1日の現地説明会に参加し、9月23日に会員16名で1.25haに1,430本のアカエゾマツを植栽して11年目。植栽列の入り口には山中さんが力強く書かれた北海道森林ボランティア協会の文字も薄れ時の流れを感じると同時に、樹高は5mを越し胸高直径もビール瓶程に生長して立派な森に感無量のひと時でした。(文・事務局)



支笏湖復興セブーンイレブンの森を訪ねて

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・萩田・樫棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・矢澤・和田

1. 2017年9月、10月スケジュール・・・幹事会 9月1日（金）
2. 第4回親子森林教室・・・森しり隊だより Vol3 発送（8/11）、第5回に向けての対応検討会（8/22）
第5回親子シミュレーション（加藤、湯澤、酒井）
3. 2017年度森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・コンサの森、復興の森生長調査報告
4. 澄川環境林調査結果（7/1）青少年教育科学館守屋先生・・・
札幌市みどりの課との現地調査の確認、環境省モニタリングサイト1000里地調査募集の対応
林内水質検査及び水性生物の状況・市役所みどりの課（7/25）視察
5. 道民森づくりネットワークの集い2017（9/10）・・・出展内容の確認（ノコギリ体験、コースター作り、クラフト作り）・カラマツ枝払い指導
6. ぶんぶんの森の2018年度の対応・・・植栽したトドマツと実生したカラマツの活かし方
⇒北海道新聞社、胆振東部森林管理署、協会と協議
7. 活動報告
8/9・10 水明郷の森・・・下草刈り
8/29・30 烏柵舞の森・・・下草刈り、シラカンバ間引施業準備
8. 委員会報告 研修旅行の準備状況・・・参加予定者へ参加確認作業（8/15）
9. その他 ・新得「矢野山林」調査（9/3・4）・・・林内視察、毎木調査、下草刈り、除伐他
・2017年7月会計報告

★ 納涼会 16:00:大通6丁目ケヤキ下で開催

■活動履歴

月 日	行事・活動地	参加数	活動内容
7月12日(水)	藻岩山幌南の森	8	遊歩道整備（危険木無し）
7月14日(金)	澄川	15	中流橋木道用杭の皮剥き（24本）、製材（8枚）
7月18日(火)	澄川	15	落枝看板設置、E地区シラカンバ製材（2枚）
7月20・21日	復興の森/ぶんぶん森/7-11の森	17/17	生長調査/下草刈り、繁茂したカラマツとの共生/生長観察
7月23日(日)	澄川	19	第4回親子森林教室（炭焼き・ホタル観賞等）
7月24日(月)	澄川	8	後片付け
7月26日(水)	有明	12	天然更新促進のためササ刈り、危険木処理
7月28日(金)	澄川	17	炭焼き窯開き（良質物3袋）、製材（7枚）、薪作成（1m ³ ）
8月1日(火)	澄川	11	サンサンキッズ（38名）カミネッコン90鉢B-7に植栽
8月2日(水)	有明	9	高台部の傾斜木・枯損木・危険木除去作業、作業道整備
8月3日(木)	ラルズビル/大通	12/8	定例幹事会/納涼会
8月7日(月)	澄川	19	B-7の植栽地整備、上流橋木道の雪落とし間スペース塞ぎ